

平成26年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果

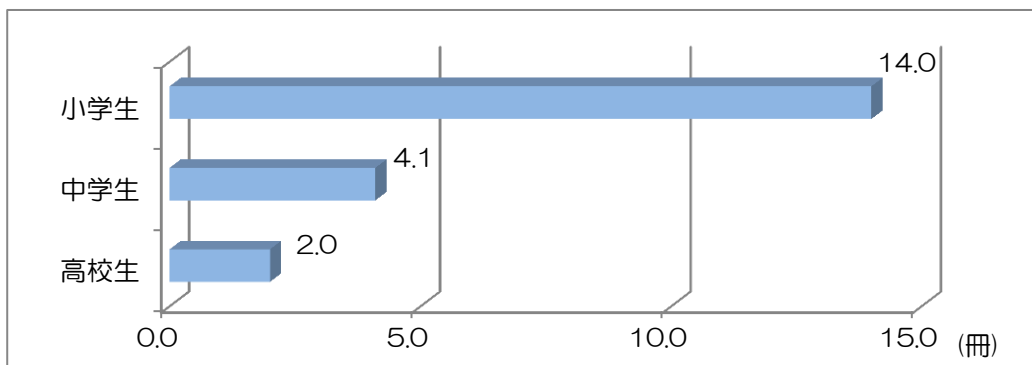
<調査の概要>

○調査対象期間：平成26年10月1日～31日

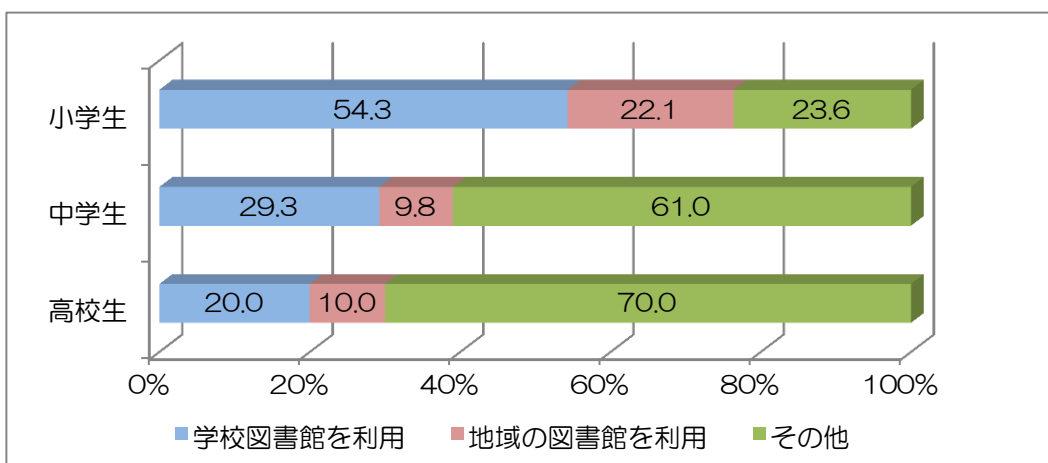
○調査対象児童生徒：県内各公立小・中・高等学校から1学級を抽出

※小(5年)6,537名、中(2年)4,412名、高(2年)2,097名

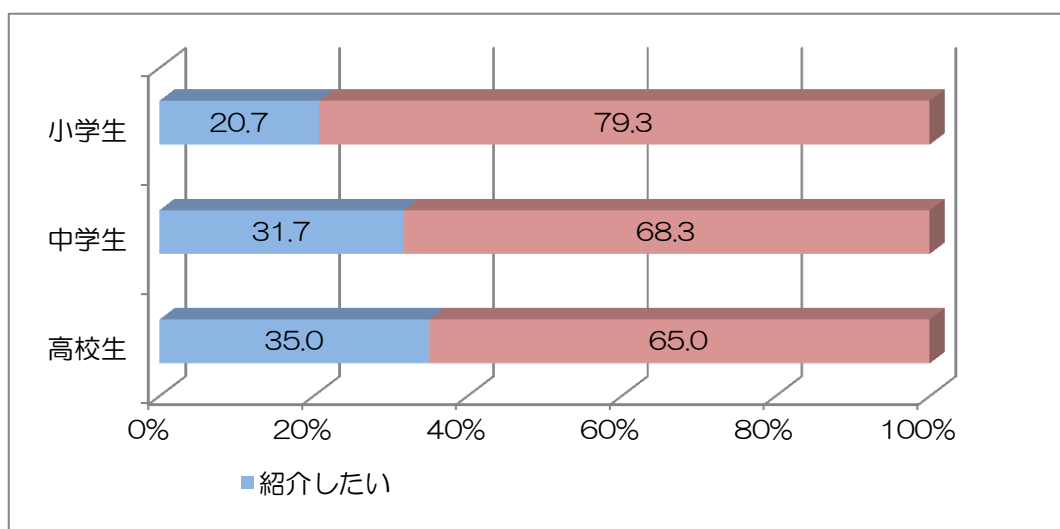
1 1ヶ月間の平均読書冊数（学年が上がるにつれ、読書冊数は減少する傾向にあります。）



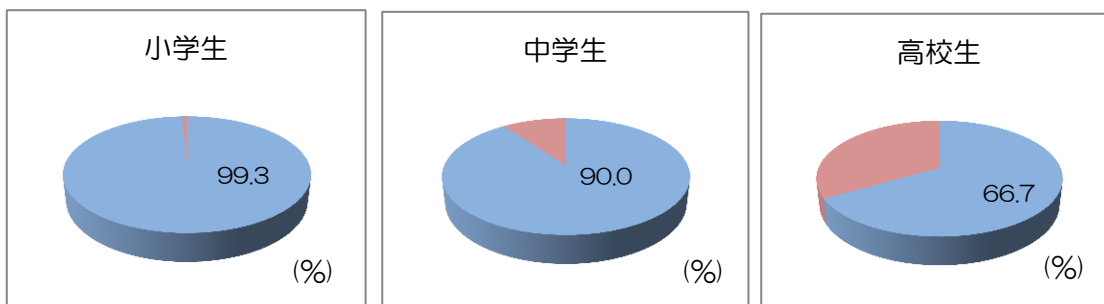
2 1ヶ月で読んだ本の内訳割合（学年が上がるにつれ、図書館資料以外の読書が増加する傾向にあります。）



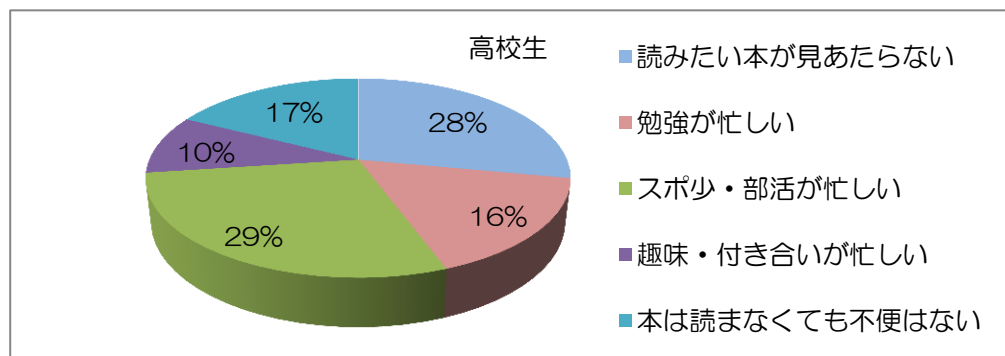
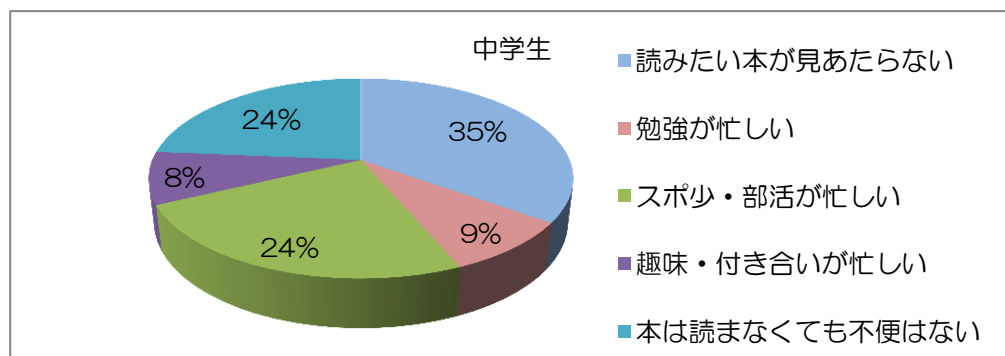
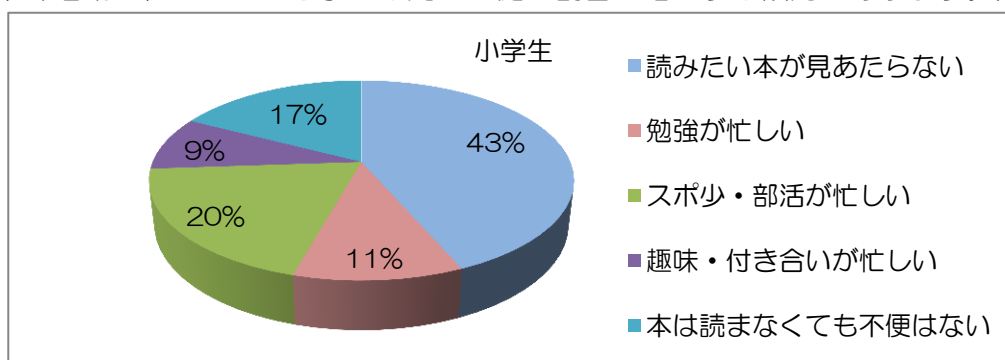
3 1ヶ月で読んだ本のうち、友達や家族にも紹介したいと思った本の割合（紹介したい本は、学年が上がるにつれ、割合が増していく傾向にあります。）



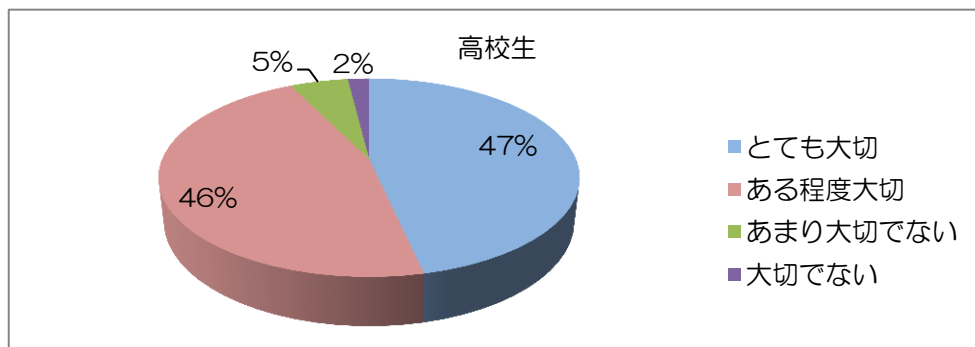
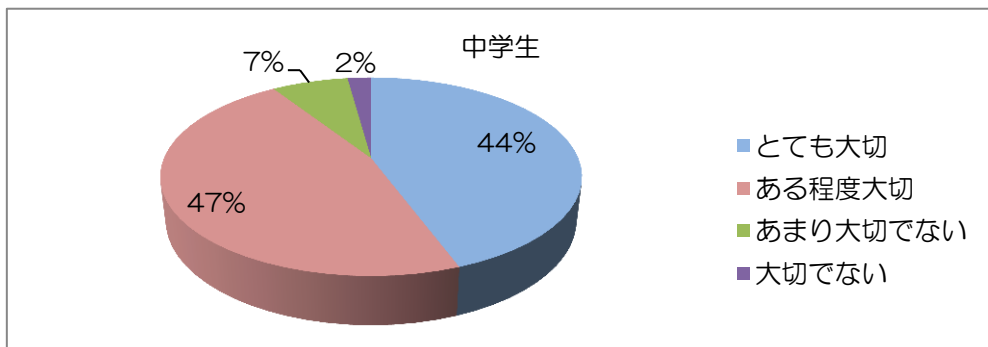
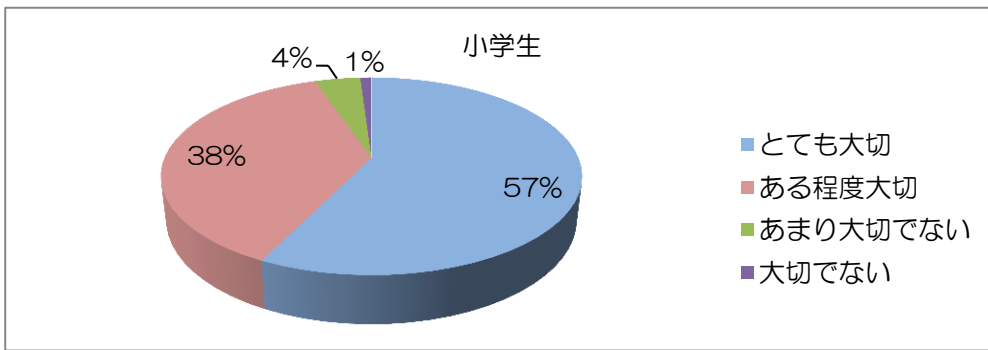
4 1ヶ月で1冊以上本を読んだ児童生徒の割合
 (学年が上がるにつれ、1冊以上本を読んだ児童生徒の割合は減少しています。)



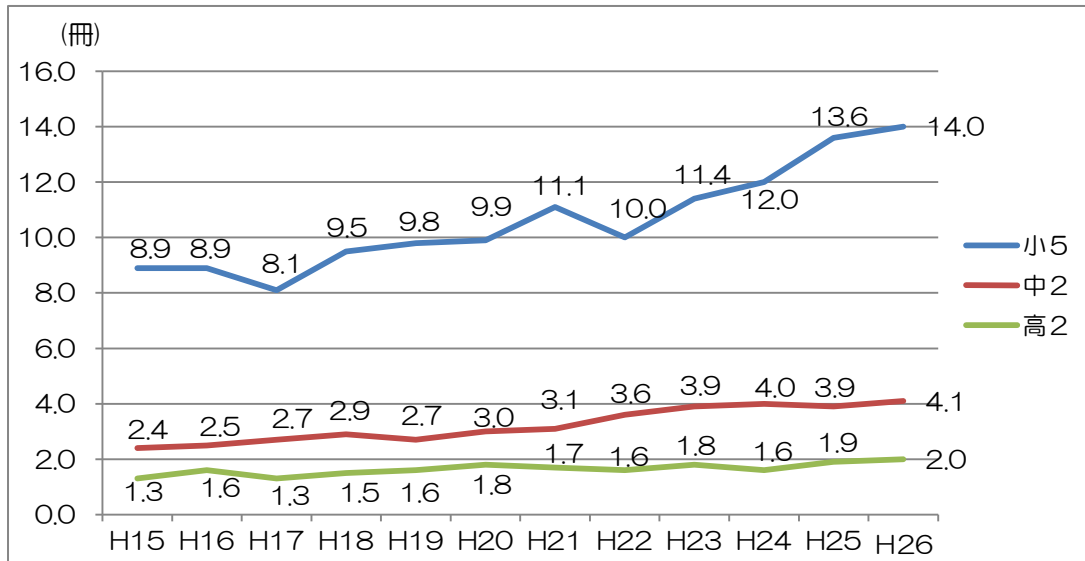
5 1ヶ月で1冊も本を読まなかった理由
 (学年が上がるにつれ、1冊も本を読まなかった理由としてスポーツ少年団や部活動が忙しいことを挙げる児童生徒の割合が増加する傾向にあります。)



6 「読書」に対する意識
(各学年とも「読書は大切である」と回答する児童生徒が9割を超えています。)



7 1ヶ月間における読書冊数の経年変化
 (年度による上下はあるものの、概ね堅調な増加傾向にあります。)



8 1ヶ月間で1冊以上本を読んだ児童生徒割合の経年変化
 (年度による差は大きいものの、中学生については増加の傾向が見られます。)

